

五感で学ぶ

九州学

Vol.2

入場無料

たべるみる
あそぶまなぶ
かかへるまなぶ

シンポジウム

観光アイランド九州

—地域の未来を考へる発想—



対談形式
講演

「私のデザインの軌跡と鉄道」
水戸岡鋭治 (工業デザイナー、JR九州の列車デザイン)

「観光アイランド九州」
—伝統文化から地域の未来を考える—

コーディネーター／飯沼 賢司 (別府大学教授)
パネリスト／水戸岡 鋭治 (工業デザイナー)／
桑野 和泉 (由布院玉の湯社長)
篠藤 明德 (別府大学教授)／中山 昭則 (別府大学教授)

シンポジウム

2016年1月23日(土)

13:00~16:00 別府大学 メディアホール
(メディア教育研究センター 4F)

[主催] 別府大学

[後援] 大分県 / 別府市 / JR九州大分支社 / 大分銀行

[協力] 大分市美術館 [写真提供] ドーンデザイン研究所 / 山田哲也

[問い合わせ先] 別府大学歴史文化総合研究センター

〒874-0915 別府市桜ヶ丘 5-2

TEL:0977-27-6116 / FAX:0977-27-6117

九州学

これは“全身で得る”学問。

シンポジウム九州学 Vol.2

観光アイランド九州 —地域の未来を考える発想—

2015年1月10日、別府大学はシンポジウム「九州学」を企画しその狼煙をあげました。このシンポジウムでは「各地域から県域という現状の境界・枠を越え九州を語るのが「九州学」であり、また、食べる・見る・聞く・嗅ぐ・触るの五感を投入した総合学でもある。」と主張し、これまでの地域学の枠を超えて、九州を新しい視点からの学問を提唱しました。今年度からは、大学において学際科目として「九州学」を設置し、大学のみならず九州各地の人材を動員し、9月から講義を開始しています。さらに、別府大学同窓会や大学の文化財研究所などと連携し、各地で九州学の冠講座を企画してきました。

今回の企画は、学際科目「九州学」の年度最後の講義であるとともに「九州学シンポジウム」の第2弾です。今回は「観光アイランド九州」というテーマを掲げています。九州の枠組みを唱えるとき、「観光」は九州をまとめる重要な切り口です。本シンポジウムでは、JR九州の列車デザインを手がけ、九州を大いに全国、世界に発信した水戸岡鋭治さんに来ていただき、そのデザインの神髄、九州への思い、その発想などを伺いたいと思います。水戸岡さんを含めたシンポジウムの席では、由布院観光の継承者桑野和泉さんにも加わっていただき、観光とはなにか、鉄道、自動車、船などに注目し、新しい近代観光を作り上げた油屋熊八などにも注目しつつ、本学の教授たちとともに九州の観光の現状と地域の未来についても語りたいと考えています。

対談形式
講演

水戸岡鋭治（工業デザイナー／JR九州の列車デザイン）
「私のデザインの軌跡と鉄道」



シンポジウム

「観光アイランド九州 —伝統文化から地域の未来を考える—」

コーディネーター／飯沼賢司（別府大学教授）

パネリスト／水戸岡鋭治（工業デザイナー）・桑野和泉（由布院玉の湯社長）
篠藤明德（別府大学教授）・中山昭則（別府大学教授）

